

事業名	クリケット国際交流事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	スポーツ推進課			款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツツーリズム係			項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	221	名称		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	事業期間	開始年度	H28	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり		終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	スポーツツーリズムの推進					

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	世界的なクリケット名門クラブ マリルボーンクリケットクラブ（MCC）や国際クリケット評議会（ICC）と本市との友好関係に基づき、クリケットの専門家の派遣を受け、主に市内小学校等児童を対象にした英語を使ったクリケット体験会や国際理解を目的とした授業等を実施する。
------	--

（2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	招致した外国人によるクリケット体験会により、クリケットに触れる機会の提供と国際理解につながる場の提供
-------------------------	--

（3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クリケット体験会を実施した小学校等	校		5	5	5	5
クリケット体験をした児童等	数		1,000	1,000	1,000	1,000

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	市内小学校等を訪問し、英語でのクリケット体験、外国文化の紹介を実施。また、クリケット場で行われる体験会において、市民との交流を図った。（日本クリケット協会に委託） 業務期間：令和 5 年9月25日から12月15日 主な業務：英語を使ったクリケット体験 視覚障がい者向けクリケット体験 ※R4はコロナにより未実施
--------------------------	---

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
クリケット体験会を実施した小学校	校		0	4
クリケット体験をした児童等	数		0	990
事業費計	千円	0	0	499
一般財源	千円		0	499
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	※児童の感想：クリケットは聞いたことあったけど、実際にどうプレーするか知らなかった。サムからバッティングやボウリングの仕方を教わるのはとても楽しかった。 ※先生の感想：生徒にとって初めての体験だったので、体験するのは本当に良かった。また授業が英語で行われスポーツを通じて英語を学ぶことでより楽しいものになった。
------------------	--

（4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
クリケット体験会を実施した小学校等	校		0	4	値が大きいほど良い	効果が上がった
クリケット体験をした児童等	数		0	990	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果 （R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数2指標
	効果は変わらない指標数0指標
	効果が下がった指標数0指標
	指標全体効果が上がった

※ 1 0 万円以上の増減により判断

効果			
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった		
	費用の増減無し		
	費用が増加した	○	

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍で事業を中止、R5で再開した。そのためもあってか、本事業による外国人コーチの派遣を受ける小学校が少なかった。より多くの小学校に活用してもらう取組を実施する。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	小学校での活用について、教育委員会や校長会等で説明する。また、受入現場の意見を取り入れるなど活用しやすい方策を検討する。

事業名	クリケット活用地域活性化事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	スポーツ推進課		クリケット活用地域活性化事業		款	10	新規or継続	継続事業
	係	スポーツツーリズム係				項	5	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H29	実施方法	一部委託
	政策	2	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり			終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	スポーツツーリズムの推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	クリケット国際大会等、主要なクリケット大会等の支援、国際クリケット場の利活用促進及びプロモーション活動を実施する。
------	---

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	「クリケット」をきっかけとしたスポーツツーリズムの推進により、地域経済への波及効果向上につなげる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		クリケット場来場者	人	5,000	10,000	12,000	14,000	16,000
		クリケット関連域内消費額	千円	50,000	60,000	65,000	70,000	75,000

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	①クリケット大会等の支援 ・エンパシーカップ2023、SBIカップほかの支援（交流会の実施、駐車場警備、高校訪問、市各種事業PR等） ②クリケット場の利活用促進策の実施 ・スポフェス、夏のイベント、キッズサッカー大会支援等 ③プロモーション活動 ・ホームページ及びSNSによる情報発信 ・のぼり旗、懸垂幕の掲出	活動指標	単位	R3	R4	R5
		支援したクリケット大会等	件		4	6
		市が主催・協力したクリケット以外の事業	件		7	6
		事業費計	千円	0	9,162	9,498
		一般財源	千円		5,162	3,498
		特定財源（国・県・他）	千円		4,000	6,000
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	例年、年に1回開催されるSBIカップが2回、エンパシーカップと合わせてたぬまふるさと祭りも開催され多くの来場者があった。 また、駐日インド大使館との関係が強化され、インド大使が来佐されるとともに、市関係者による大使館訪問、大使館との連携事業について検討がはじまった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		クリケット場来場者	人	8,351	39,889	37,948	面が大きいほど良い	効果が下がった
		クリケット関連域内消費額	千円	33,378	51,804	78,295	面が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった		※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	1指標						
	指標全体		効果は変わらない					

費用	費用は下がった		
	費用の増減無し	○	
	費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年10月、2028年ロス五輪でクリケットが正式種目として追加されたこともあり、市民を含め多くの人に「クリケットのまち佐野」を知ってもらうよいタイミングである。そのため、これまで以上のプロモーション活動が必要である。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	①クリケット大会に合わせた競技解説の実施 ②各種メディアを活用した情報発信 ③クリケット場以外でのクリケット体験会の実施